

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

二期阻止で中曽根倒せ

今日、三里塚をめぐる情勢は、八四年秋〜八五年にむかつて二期着工攻撃が切迫しており、決戦的な時機が到来しています。全支部の組合員のみなさん、そして役員・活動家のみなさん、農民殺し・戦争への道Ⅱ二期着工をゆるすのか、それとも二期阻止・廃港をかちとり人民の闘う砦を守りぬくのか、二つにひとつしか道はありません。

残された期間、もう一度、もう二度、オルグの点検を確実にこなさない、三里塚闘争勝利をかけて、5・20現地集会に総決起しようではありませんか。

三里塚で労働運動の高揚をかちとろう

「動労千葉、3・25に5割動員を実現！」は、全国で闘う国鉄労働者の仲間に限らない勇気を与え、現地闘争においても大きな衝撃波となつてあらわれました。また、この日、動労千葉六三三名の隊列に並んで五〇〇名の国鉄労働者が歴史的な合流をかちとつたことは極めて大きな展望をきりひらいたといえます。

国鉄においては、「五九・二ダイ改」以降、たび重なる動労「本部」革マルの裏切りによつて、全国で三万人ともいわれる「過員」がうみだされ、国鉄労働運動破壊攻撃がますます激化するなかで、闘う国鉄労働者は「動労千葉につづけ」を合言葉に着実に増えてきており、労働運動は巨大な流動化を開始しています。

全てをかけて決起している三里塚農民、そして中曽根の反動政治への怒りをもえたとさせている全国の労働者・人民の決起と期待になんとしても応えきり勝利するために、われわれは「三里塚を闘う国鉄労働運動」の一層の拡大にむけ、動労千葉の真価と飛躍をかけて決起することが求められています。

八四春闘にみられる総屈服のように、総評労働運動が企業内主義におちこみ、全民労協の右翼路線にひきまわされ急坂をころげ落ちていく状況は、わずかばかりの賃上げさえかちとれないばかりか、中曽根の侵略戦争政策に積極的に動員されていくものです。

三里塚を基軸とした労働運動こそが、この戦争への道をうちきり、労働者・人民の生命と生活をも守りきる唯一の路線であり、勝利への近道だといふことをはつきりとさし示すようではありませんか。

労農連帯の輪で敷地内を守れ

現地三里塚では、今、「成田用水」をめぐる、強行着工攻撃が激化しており、敷地内・外分断の

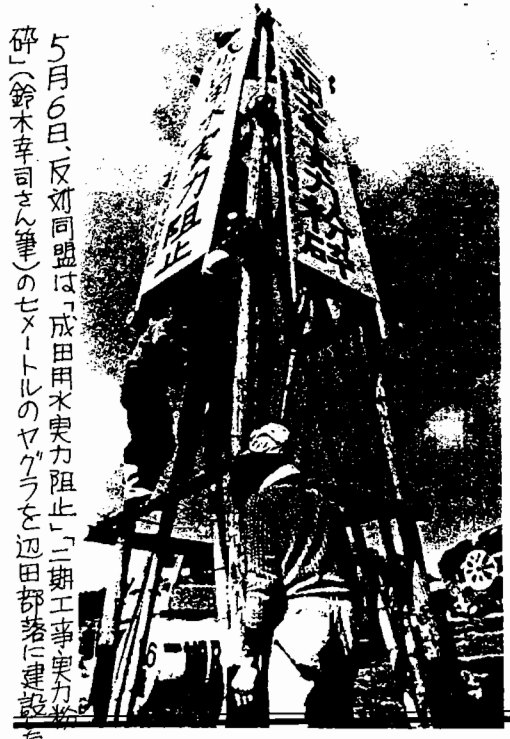
この攻撃は絶対に粉碎しなければなりません。権力の暴力にも負けない、金と法にも負けない三里塚闘争、原則を貫く反対同盟！われわれはいまこそ反対同盟の呼びかけにこたえて全力で決起しようではありませんか。

それが労農連帯であり、八〇年代に人民の生き残る唯一の正しい道です。

あとひとふんばりだ！
五・二〇第一公園をうめつくそう

動労千葉が組織をあげて闘いぬいた「八一・三ジェット闘争」は、路線の正義性とそれを防衛する巨万の人民による重層的な支援連帯の大きな輪が一つとなつてはじめて歴史的な勝利をきりひらいたといえます。二期決戦を前に、反対同盟は昨年3・8「分裂」以降、屈服と敗北への道をころげ落ちる脱落派をのりこえ、決戦勝利へと着実につき進んでいます。それはとりもなおさず、3・25一万二千五百名の大結集に示されています。

不屈・非妥協の反対同盟を軸として、ますます拡大がゆく巨万人民の波が三里塚を大きくつつみこみ、実力で闘いぬくならば、三里塚闘争は必ず勝利できるし、日本の階級情勢は大きな転換をかちとることが出来ます。反動中曽根を打倒し、戦争への道を断つためにも、5・20に全力で決起しようではありませんか。みずからの変革をかけて決起しよう。



5月6日、反対同盟は「成田用水実力阻止」二期着工実力攻撃（鈴木幸司さん筆）のセーメントのヤグラを辺田部落に建設中

よ！ 粉碎せよ！ 攻撃破壊組織を！ 団結の強固な家族組合員。組織破壊攻撃を粉碎せよ！